

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限（設定日：2024年1月30日）	
運用方針	SBI・V・米国高配当株式インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、FTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド（ペーパーファンド）	SBI・V・米国高配当株式インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド（ペーパーファンド）	SBI・V・米国高配当株式インデックス・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF（上場投資信託証券）に投資し、FTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。
	マザーファンド	米国株式市場の高配当銘柄の動きを捉えることをめざすFTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果を目標として運用を行います。
分配方針	年4回、原則として、2月、5月、8月、11月の各20日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価損益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。原則として、経費控除後の配当等収益等を中心に分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

# 運用報告書（全体版）

第1作成期

第1期（決算日 2024年2月20日）

第2期（決算日 2024年5月20日）

## SBI・V・米国高配当株式 インデックス・ファンド （年4回決算型） （愛称：SBI・V・米国 高配当株式（分配重視型））

追加型投信／海外／株式／インデックス型

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「SBI・V・米国高配当株式インデックス・ファンド（年4回決算型）（愛称：SBI・V・米国高配当株式（分配重視型））」は、2024年5月20日に第2期決算を行いました。ここに第1期～第2期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

 SBI Asset Management

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。  
<https://www.sbiam.co.jp/>

## ○設定以来の運用実績

作成期	決算期	基準価額			ベンチマーク		投資信託証券組入比率	純資産総額
		(分配落)	税込分配金	期中騰落率		期中騰落率		
第1作成期	(設定日) 2024年1月30日	円 10,000	円 —	% —	10,000	% —	% —	百万円 2,563
	1期(2024年2月20日)	10,225	0	2.3	10,207	2.1	99.3	4,663
	2期(2024年5月20日)	11,272	80	11.0	11,353	11.2	100.0	9,375

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。

(注3) ベンチマークは、FTSEハイディビデンド・イールド・インデックスを委託会社にて円換算しています。

(注4) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注5) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		ベンチマーク		投資信託証券組入比率
			騰落率		騰落率	
第1期	(設定日) 2024年1月30日	円 10,000	% —	10,000	% —	% —
	1月末	10,017	0.2	10,000	0.0	100.2
	(期末) 2024年2月20日	10,225	2.3	10,207	2.1	99.3
第2期	(期首) 2024年2月20日	10,225	—	10,207	—	99.3
	2月末	10,359	1.3	10,340	1.3	99.7
	3月末	10,981	7.4	10,984	7.6	99.5
	4月末	11,096	8.5	11,094	8.7	99.5
	(期末) 2024年5月20日	11,352	11.0	11,353	11.2	100.0

(注1) 騰落率は第1期が設定日比、第2期は期首比です。

(注2) ベンチマークは、FTSEハイディビデンド・イールド・インデックスを委託会社にて円換算しています。

(注3) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

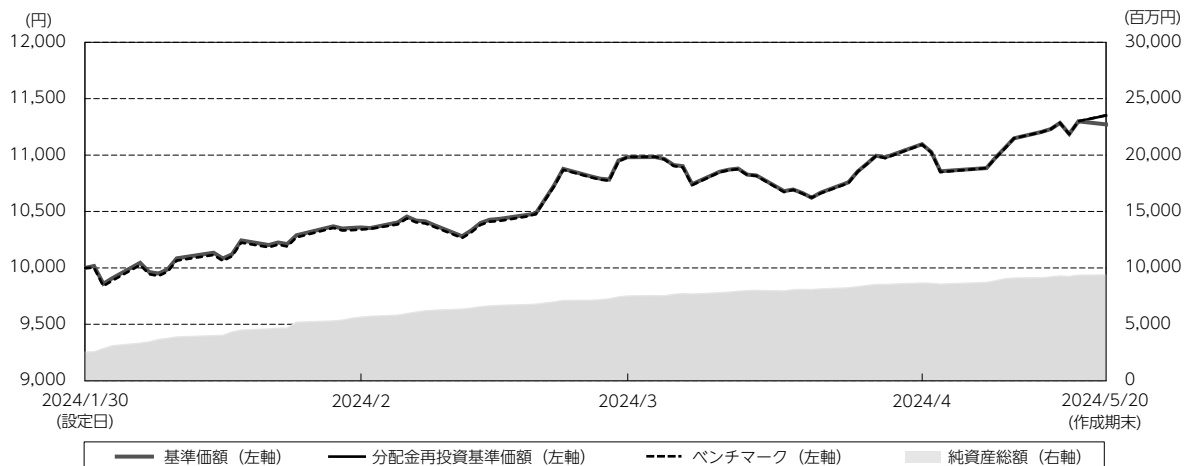
(注4) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

ベンチマーク：FTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（円換算ベース）

FTSEハイディビデンド・イールド・インデックスとは、米国株式市場における高配当利回りの銘柄（除く、REIT）で構成される時価総額加重平均型の株価指数です。なお、FTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（円換算ベース）は、FTSEハイディビデンド・イールド・インデックスをもとに、委託会社が円換算したものです。

## ■ 当作成期の運用状況と今後の運用方針（2024年1月30日から2024年5月20日まで）

### ○ 基準価額等の推移



設定日：10,000円

第2期末：11,272円（既払分配金（税込み）：80円）

騰落率：13.5%

(注1) ベンチマークは、FTSEハイディビデンド・イールド・インデックスを委託会社にて円換算しています。詳細はP1をご参照ください。

(注2) ベンチマークは、設定日（2024年1月30日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日（2024年1月30日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注4) ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

### ○ 基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

- ・米消費者物価指数（CPI）の伸び鈍化による米国金融政策の緩和への期待
- ・米国景気の軟着陸への期待
- ・人工知能（AI）関連の半導体需要増への期待によるハイテク株高
- ・対円で米ドルが上昇したこと

#### 下落要因

- ・米連邦準備制度理事会（FRB）の積極的な政策金利引上げ
- ・根強い米インフレ傾向によりFRB早期利下げ観測が後退したこと
- ・中東情勢の緊迫化によりリスク回避が強まったこと

## ○投資環境

---

### <米国株式市場>

設定当初、米国市場を代表するS&P500種指数で見て4,800台で始まりしました。設定日から3月にかけて、長期金利が大幅に低下する中、ハイテク株などが買われ、S&P500種指数は上昇しました。4月は消費者物価指数(CPI)の上ぶれなどから米連邦準備制度理事会(FRB)の利下げ観測が後退し、慎重姿勢が示される中、中東情勢や半導体セクターへの懸念も強まり、下落しました。その後、CPIが市場の予想通りに推移したことや小売売上高の伸びが減速したことなどから、インフレ再燃懸念が後退し、S&P500種指数は上昇に転じました。通期ではS&P500種指数が上昇し、5,300台で作成期末を迎えました。

### <為替>

設定当初、米ドル円相場147円台で始まりしました。2月は、堅調な米雇用統計、FRBによる早期利下げ観測の後退などから、ドル高・円安に転じました。3月上旬に米景気の減速懸念や、FRB高官が年内の利下げ可能性を改めて示したこと、日本銀行による金融政策の正常化観測などからドル安・円高が進展しました。しかし、3月中旬に米長期金利の上昇や、日本銀行が国債買い入れを継続する方針を示す中、日本の緩和的な金融環境の継続が改めて意識されたことから、ドル高・円安に転じました。4月は、米CPI上ぶれ、FRBの利下げ観測後退、中東情勢への懸念などからドルが買われたこともあって、円安が進行しました。通期では、ドル高・円安が進み、155円台で作成期末を迎えました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### <当ファンド>

主要投資対象であるSBI・V・米国高配当株式インデックス・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

### <SBI・V・米国高配当株式インデックス・マザーファンド>

米国株式市場の高配当銘柄の動きを捉えることをめざすFTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果を目標として運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ザ・バンガード・グループ・インクが運用を行う「バンガード・米国高配当株式ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

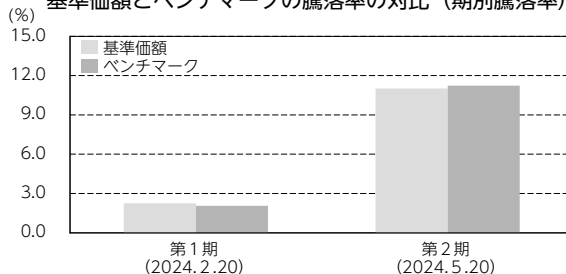
作成期中における分配金を考慮した基準価額及びベンチマークである「FTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（円換算ベース）」の騰落率はともに+13.5%となりましたが、個別には以下のようなプラス要因、マイナス要因があります。

（マイナス要因がプラス要因を上回りました。）

主なプラス要因：ファンドとベンチマークにおいて適用される配当税率の差異

主なマイナス要因：ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジション

基準価額とベンチマークの騰落率の対比（期別騰落率）



(注) ベンチマークはFTSEハイディビデンド・イールド・インデックス（円換算ベース）です。詳細はP1をご参照ください。

## ○分配金

当作成期の分配金は、当ファンドの分配方針に基づき、基準価額水準や市況動向などを勘案し、下表の通りといたしました。

なお、分配にあてずに信託財産内に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第1期	第2期
	2024年1月30日～ 2024年2月20日	2024年2月21日～ 2024年5月20日
当期分配金	—	80
(対基準価額比率)	—%	0.705%
当期の収益	—	79
当期の収益以外	—	0
翌期繰越分配対象額	225	1,272

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

### <当ファンド>

引き続き、マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETF(上場投資信託証券)に投資し、FTSEハイディビデンド・イールド・インデックス(円換算ベース)に連動する投資成果をめざして運用を行う方針です。

### <SBI・V・米国高配当株式インデックス・マザーファンド>

引き続き、ETF(上場投資信託証券)を主要投資対象とし、FTSEハイディビデンド・イールド・インデックス(円換算ベース)の値動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

# ○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 1 月30日～2024年 5 月20日)

項 目	第 1 期～第 2 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 )  ( 受 託 会 社 )	円 2 ( 1 ) ( 1 )  ( 1 )	% 0.020 (0.007) (0.007)  (0.005)	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均 受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に 支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均 受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に 関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )  ( 監 査 費 用 ) ( 印 刷 )	2 ( 1 )  ( 1 ) ( 1 )	0.021 (0.006)  (0.005) (0.009)	(d) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	4	0.041	
作成期中の平均基準価額は、10,613円です。			

(注 1) 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注 2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注 3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

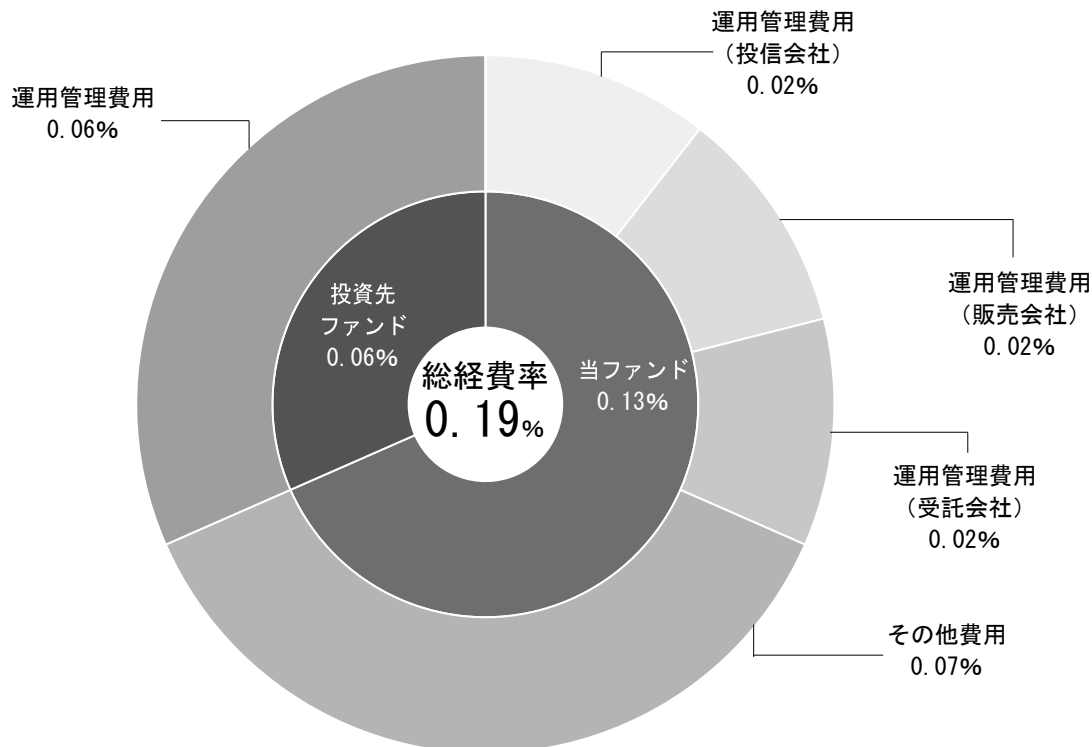
(注 4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注 5) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

### ○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）**は**0.19%**です。



総経費率 (①+②)	0.19%
①当ファンドの費用の比率	0.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.06%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## ○売買及び取引の状況

(2024年1月30日～2024年5月20日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第1期～第2期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
SBI・V・米国高配当株式インデックス・マザーファンド	5,879,390	9,434,770	533,288	885,450

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年1月30日～2024年5月20日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2024年5月20日現在)

### 親投資信託残高

銘 柄	第1作成期末	
	口 数	評 価 額
	千口	千円
SBI・V・米国高配当株式インデックス・マザーファンド	5,346,102	9,444,424

(注) 単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2024年5月20日現在)

項 目	第1作成期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
SBI・V・米国高配当株式インデックス・マザーファンド	9,444,424	99.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	32,621	0.3
投 資 信 託 財 産 総 額	9,477,045	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) SBI・V・米国高配当株式インデックス・マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建て純資産(38,259,923千円)の投資信託財産総額(38,619,258千円)に対する比率は99.1%です。

(注3) 外貨建て資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1ドル=155.91円。

## ○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第1期末 2024年2月20日現在	第2期末 2024年5月20日現在
	円	円
(A) 資産	4,706,451,528	9,477,045,301
コール・ローン等	27,014	21,215
SBI・V・米国高配当株式インデックス・マザーファンド(評価額)	4,663,724,514	9,444,424,086
未収入金	42,700,000	32,600,000
(B) 負債	42,989,338	101,201,009
未払収益分配金	—	66,542,272
未払解約金	42,686,414	32,592,904
未払信託報酬	135,302	1,168,673
その他未払費用	167,622	897,160
(C) 純資産総額(A－B)	4,663,462,190	9,375,844,292
元本	4,560,623,501	8,317,784,121
次期繰越損益金	102,838,689	1,058,060,171
(D) 受益権総口数	4,560,623,501口	8,317,784,121口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,225円	11,272円

<注記事項（運用報告書作成時には監査未了）>

（貸借対照表関係）

作成期首元本額

2,563,039,717円

第1～2期中追加設定元本額

6,584,122,288円

第1～2期中一部解約元本額

829,377,884円

## ○損益の状況

項 目	第 1 期	第 2 期
	2024年 1 月 30 日～2024年 2 月 20 日	2024年 2 月 21 日～2024年 5 月 20 日
	円	円
(A) 有価証券売買損益	98,111,732	764,005,817
売買益	100,689,257	799,874,036
売買損	△ 2,577,525	△ 35,868,219
(B) 信託報酬等	△ 302,924	△ 1,898,211
(C) 当期損益金(A+B)	97,808,808	762,107,606
(D) 前期繰越損益金	—	88,571,923
(E) 追加信託差損益金	5,029,881	273,922,914
(配当等相当額)	( — )	( 89,812,052)
(売買損益相当額)	( 5,029,881)	( 184,110,862)
(F) 計(C+D+E)	102,838,689	1,124,602,443
(G) 収益分配金	0	△ 66,542,272
次期繰越損益金(F+G)	102,838,689	1,058,060,171
追加信託差損益金	5,029,881	273,922,914
(配当等相当額)	(△ 1,084)	( 97,910,520)
(売買損益相当額)	( 5,030,965)	( 176,012,394)
分配準備積立金	97,808,808	784,137,257

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 第1期計算期間末における費用控除後の配当等収益(7,775円)、費用控除後の有価証券等損益額(97,801,033円)、および信託約款に規定する収益調整金(5,030,965円)より分配対象収益は102,839,773円(10,000口当たり225円)ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

(注5) 第2期計算期間末における費用控除後の配当等収益(35,721,874円)、費用控除後の有価証券等損益額(726,385,732円)、信託約款に規定する収益調整金(273,922,914円)および分配準備積立金(88,571,923円)より分配対象収益は1,124,602,443円(10,000口当たり1,352円)であり、うち66,542,272円(10,000口当たり80円)を分配金額としております。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2024年5月20日現在）

<SBI・V・米国高配当株式インデックス・マザーファンド>

下記は、SBI・V・米国高配当株式インデックス・マザーファンド全体（21,818,360千口）の内容です。

外国投資信託証券

銘柄名		第1作成期末			
		口数	評価額		比率
			外貨建金額	円換算金額	
(アメリカ) VANGUARD HIGH DIVIDEND YIELD ETF		口 2,019,551	千ドル 245,395	千円 38,259,634	% 99.3
合計	口数・金額	2,019,551	245,395	38,259,634	
	銘柄数<比率>	1	—	<99.3%>	

(注1) 円換算金額は当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。